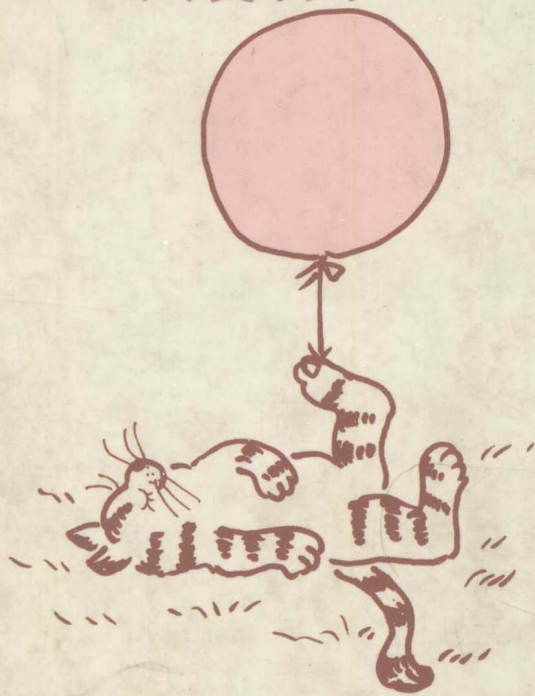


わたしは女の子

犬養智子



青春ノート 2

わたしは女の子

犬養智子

青春ノート 2



国土社

♥犬養智子（いぬかい ともこ）

私の家には、ひとりの息子とひとりの娘と2匹の猫と、みんなをのつけるスポーツカーが住んでいます。私の毎日は、みんなにおはようというて、今日はどんな楽しいことをしようかなーで始まり、いやなことがあったときは、明日は別の太陽が昇るわ、で終わります。



NDC 159

犬養智子

わたしは女の子

国土社

238p 20×16cm（青春ノート2）

わたしは女の子（青春ノート2）

犬養智子 著

1981年12月15日初版 1刷印刷

1981年12月25日初版 1刷発行

発行者 長宗泰造

発行所 株式会社 国土社

〒112 東京都文京区目白台1-17-6

☎03(943)3721 振替 東京6-90631

印刷所 株式会社 厚徳社

© T. Inukai 〈検印廃止〉

ISBN4-337-0600-2 C8315

わたしは女の子・目次





女の子って何かな

女に未来はあるか？

8

世の中、二つイイコトない

10

「あたしの設計図は白いウエディングドレス」

12

フルーツ
果実を取るには木登りしなくちゃ

15

男は何を持っているか？

17

かわいいそうなお父さん

23

世の中はキンタローアメ？

26

学生をしたあと、女はどこに消えるのか？

28

なぜ、お茶やお花を習うの？

31

なぜ、成人式にきもの？

32

わかってても、なぜか女のコ的になる

34

「女だからマザー・テレサ」はいや

35

女の子であるというのは、ソンカトクか？

39

わたしはもてる女の子！

私のからだの欠点

46

おしやれの仕方がわからない

49

ドーシテよその女の子ってステキに見えるの？

54

チビの女の子

56

デブの女の子

59

ブスと美人の不公平

60

ブスから浮上ふじようするために

65

でも、やっぱりカオは気になる、っていう人へ

68

もてない女の子はつらい

71

もてない女の子からもてる女の子へ

74

ほんとのイジワルさんと、そうでないイジワルさん

77

イジイジ引っこみ思案しあんを断ち切る

79

ハートのある女はつよい

82

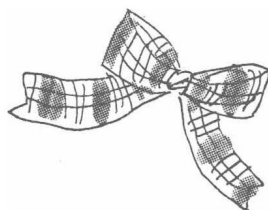
女の子にとってのオトコ

あなたは恋こいに憧あこがれている？

86

女の涙なみだはワニの涙？

90



女のからだは神秘的……

ニ、ニンシンしちゃった？

セックスは好きな相手としたいの

「ウーマンズ・ボディー」「マンズ・ボディー」

男の子って単純な存在？

やさしい男って好き、だけど……

「ぼくだってたいへんなんだもの」ていうオトコ

「ぼくだって弱いのよ」なんていわないで！

だめ男を好き？

つよい男ってやつぱりステキ

「えらい女は特別な人！」って女の子はいう

男と女に能力のちがいなんかない

「らしさ」なんてウソ

女と男、ちがうからおもしろい

ジーンと人民服
じんみん

女と男、こんなところがちがうみたい……

141 140 136 132 129 126 122 119 116 113 111 108 106 100 98 94

あなたのバランス感覚

143

女も男も、家のことをする

147

男の家事は、おもしろい

150

人生はあなたのもの

大人は子供にウソをつく？

154

「勉強しないとロクな人間になれない」？

157

「天才の通信簿^{つうしんぼ}」の教えてくれるもの

161

「ダメ人間」にはならないゾ

163

なぜ、女のコばかりお手伝い？

166

「聴^きき耳たてる」お母さんはイヤ

170

十代のセックス

173

デートは楽しい

176

「8時に帰きなさい」ですって？

181

何時に帰るのが理想的？

184

女と男、もっと楽しくいこうよ

186

すてきなあなた

あなたの人生のイメージを描いてみない

192

あなた自身を好き？

198

「だから好かれる女のコ」になりたい？

203

えらい人だって若いとき悩んだのです

205

努力しないで有名になれるのかな

209

悪口なんてこわくない

212

一人でいるのはすてき

217

好きなものに囲まれて暮らす

221

おこづかいハッ和使用ちやう

226

夜ヒコーキに乗って地上を見ない！

230

もっと冒険しない？！

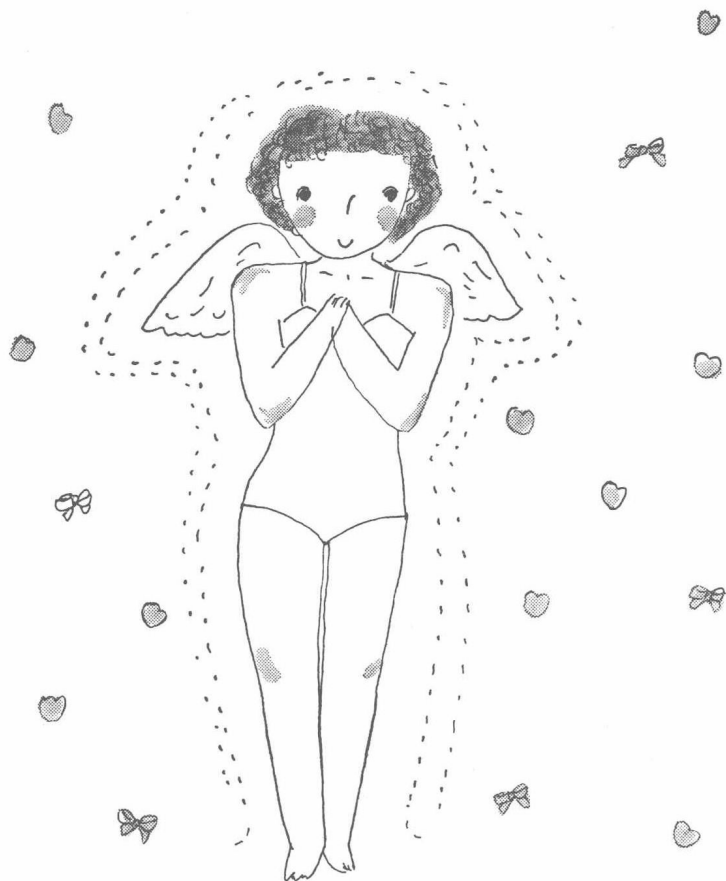
234

装画*犬養智子

装幀*中島かほる

イラスト*西村玲子

女の子って何かな





★女に未来はあるか？★

「もちろんなくちゃこまる！」ってあなたはいうはず。「女の時代じゃない！ 未来は女のものよ！」とも。私もそう思いたいよね。

でも、一つ確かなのは、女がしっかりやらなくちゃ、ほんとうは、女の未来はこないとゆーこと。あなたの未来も、あなたがしっかりしなくちゃ、やっぱりこない……。なぜって、「未来」はだれかがあたえてくれるものじゃなく、自分でつかむものだから。

でも、「女の未来って、そもそも何よ？」ってあなたは聞くかもしれないな。「未来」とは、先が末広がりひろがってる人生のこと。大人になるにつれて、いつそうおもしろいことがふえ、したいことがふえ、友だちがふえ、チャレンジがある人生のこと。

逆に「未来がない」というのは、そういうものいっさいがなくて、先の見通し
が暗いこと。

たとえば、あなたの描^{えが}いてる先の生活が、OLになって、いい男つかまえて
(白い馬に乗った王子さま!)、白いウエディングドレス着て結婚して、そこでス
トップ! だったら、これはやはり、末広りの人生でも、「未来」でもないの
です。だって、その先を思い描けないじゃない! 先にあるのは、赤ちゃん、お
むつ、キッチン、ぐらいですものね。

航空管制官になろう、とか、建築やって、すてきなキッチンや住みいい家をつく
ろう、とか、小説書こうとか、ビデオ作家になろうとか、自分たちで雑誌を出そ
うとか、自分でやりたいこと見つけてやっていく人生、それは、末広がりになる
のだけど。

男の子は、どちらかっていうと、こういう人生を思い描く。女の子は、どちら
かっていうと、白いウエディングドレスで終わる人生設計が多いのね。これ、人
生設計っていうより、ユメにすぎないんだけど。

どんな未来を持つかはひとり一人の女の問題だけど、それが集まって女全体の

未来になるんです。小川の集まりが大河になるように。女全体に未来があるようにしなくちゃね。

★世の中、二つイイコトない★

でも、そこで考えたいのは、なぜか女のコって、なまけ者が多いのよね。チャレンジ挑戦するのがきらい、むずかしいことはいや、ラクをしていきたい、うまい男と結婚したら彼にお金かせがせて私は遊んで暮らそう、なんて……。

ここが思案のしどころなのよね。

世の中、二つイイコトはない、っていう簡単なことを、女のコも、もう知らなくちゃいけないと思う。お金かせぐには働かなくちゃならなくて、それは、ちょっとめんどろなようだけど、でも、かせいだお金は自分のお金、つまりあなたの好きに使えるお金で、あなたの自由と独立のもと、なのです。

自分は遊んで男に働かせて暮らす、ってことは、ラクみたいだけど、そのお金は男のお金でああなたのお金じゃないんだから、あなたの自由なんて男しだいでは



メになる代物^{しろもの}。このことをキモに銘^めじて、しっかり考えなくちゃ。この考え方をとるかぎり、あなたがどんなにステキでも、しょせん男の手のひらでフワフワやっつてる女にすぎないのです。

私の友だちの働いている女五十人に女とお金について質問したら、共通してたのは、「女にとってお金は、自由と独立の大モト」という答えでした。

でも、なかなかそういうほんとのことを、お父さん、お母さんは娘^{むすめ}に教えてくれないのだ、そんなことを教えると、娘の人生に迷いが生じて、「おヨメにいいかな」なんていいださないと心配だからです。

★「あたしの設計図は白いウエディングドレス」★

女が生きてく現実はきびしいんだけど、なぜか女のコも、お母さんも、それを見てないみたい。現実を見ると、女の人生って矛盾^{むじゅん}だらけで、どうしても疑った^{なげ}り悩^{なや}んだりするから、最初から見えないようにさせてるし、してるんじゃないかな。女のコの教育も、現実を見ないように、見ないように、と教えこんでるみたい。

だから女のコって、「白いウエディングドレス着たあたし」「ステキな彼」なんてのをワー、ステキ！　って思い描いて、そこまでで終わっちゃう。その先の現実にはあまりバラ色じゃないんだけど、知らん顔してかくしちゃう、見ないようにする……。

見たら、結婚なんてアホらしくて、できなくなっちゃうから、ね。そして、結婚しない女（映画の題じゃないけど）は、親にとって頭痛のタネになるからね。「あら、お宅、お嬢さん、まだおかたづきにならないの？」なんて。

ジョーダンじゃない、粗大ゴミみたいにかたづけられてたまるか！　と、女のコはどならなくちゃいけないのだ。

世の中にはおもしろいことが山とあるのに、女がラクをしたがって、結婚してうちにいて、手に入れるおもしろいものって何か、考えてみたことある？　そもそもそれはおもしろいことなのか、ってこともね。

・ピーナッツかじりながらTVを見る。

・セールスマンとの浮気を夢見る（コレ、セールスマンを、テニスの教師、子供の家庭教師、と、変えてもイイ）。

・ケーキを焼く（クッキーやパンを焼く、そして「ママが作ったのよ！」って子供に自慢する）。

・テニスをやる（フィラなんか着てカッコよくても、女ばかりでネ。なぜって昼間、男は学生以外、働いてていないのだ）。

・子供を幼稚園、学校に出したあと、女同士で喫茶店でおしゃべりする（「ネ、ネ、イイ男、どっかにいない？」）。

・バーゲンセールをあさる（ソーシテ一流ブランドで身を固める）。

・年に一回、家族旅行をする（車の中でガキが泣きわめいても、行った先で雨に降りこめられても）。

・（あわよくば）毛皮のコートを買って、カッコよく着て歩く。

あんまり、コーフンするようなことないでしょう？ イギリスならビクトリア時代、日本なら、お母さんの時代と、あんまり変わらない人生じゃあ、ないかなあ？

でも女は、そうみとめたくないから、こんなことでちりばめられてる人生を、